拂ひ額である。

平豫算町 提案された高級吏員の増 遠藤助役の拾五圓増俸案 しなかつた。 社 その何 會 MI 說 當局か も通過 町長が・ 價值。 と見るや、 無能發議である。 根本的に誤れる提案の無 何處にあらう。 3

質にお氣のごくである。 遠藤助役の如き才斡に對 藤君の百圓はいくら安價 氏としては物足りない支 圓はいかにも惜しいが遠 薄ツペらな小學校長の百 無能で、古くて、 教養の に見積つたとしても、 して支拂ふ月俸としては のである。 案 らか ぬ 提示して通過を哀願した ことは、その以前に或る を求め、増俸に奮鬪せし るとして町會議員に了解 町長の面目丸つぶれであ その外には誰一人にも知 りとも噂されてゐるのに 政黨員に增俸案の内容を 泥にまみれるに到 でゐたことが、提

階級に増俸する必要 本質的にむ盾ある 増俸業ならざる 町長が、 の議案打死となった。 細工が反感さなつて、 要するに伏見町長の小刀 た原因の一つでもある。

とさへ巷間に洩れてゐる 然れごも、此の際は忍従 すべきである。 意識してゐるであらう。 議員ならずとも、町民が 無理ではないことも町會

やなしやを疑ふ。 往

9

年

は

くて十二

個

遠藤助 く見るに到つたことが破 の一つでもあつた。 役の増俸は決して 町會議員をあま

て過上とみられるもの

で

て各町議に哀訴嘆願した

言を卑しうし

現在の百圓

俸給に對し

の聲高く深きことを、 伏見町長に對する不信任 只想起す。 年の町長の聲價果してあ

起債認可を控え

で全部常傭者である

云夕

報告し會社側にはみじん

ない故吾々は吾々と

一水道課長の

人選に惱む平町役場

ものであると

若い工學 士級の人物を選ぶ模様

せ折々監督するにとゞめ 卅錢平均一圓四十錢位

なざももらしたのでこん らうとその時養鶏の希 働くだけの決心があるな 翌朝になつて他人の許で 當時十四歳の子供にまか 仕入れて一通りの設備だ 勿來組合から雞三十羽を ら父母の許でも出來るだ けを施してやり ーと言ひ聞かせて早速 別のにはこ 涙ぐましい勤勞生活 他は全部 錦村の奮鬪少年物語 なかった その後の努力は親乍

羽中牝は十八羽しか出來 のけたが不幸にして三十 學前に必ず一切をやつて 不足と思つてゐるうちに 川月から産卵する様にな

り一日に多くて十六個 15

れやら飼料の配合給與通 ら驚くばかり毎朝五時頃 には起床して鷄舍の手入

六七圓の學費の外に利 を聞くと我が子ながら らがりに菜なごを切る さがきびしいときうす 镁、雪の日 ごに賣りっぱいてゐる 定の仕事を終ると植田 は困難なので日曜日は 近の如く安價になって 宛の貯金を持つてゐる 心させられる位だが二 本方面に出で料理店 や雨の日の

獡

じさせら

四月から工事に着手する關表される筈ので弦に市場とボラ振り連接し非常に困惑してゐるが樣で十五日ころまでには發る事を决議直ちに實行したで平町では種々準備を進めつつあるが大体において若鮮魚商糾合を新たに設立すで平町では種々準備を進めつつあるが大体において若鮮魚商共濟から脱出し石城日頃までには認可となるの役と後任課長の人選をなし之に養成同時に従來の石城 頃までには認可となるの|役と後任課長の人選をなし町上水道起債は來る二十|係上目下伏見町長は遠藤助 の道を講じたいと意見を対りけて問屋業を開始し自然 一部つたところ万場異議な 中は完全に袖を別れた形 べて問屋設立の件を會員 社との取引きを一さい中 ての面目を保つため今後

れてゐる

で止む無く此点從業員も割戻しを要求して紛糾を重き協議を重ねたが集つた會均約三割滅で欠損續なの一平町株式會肚魚市場に二分一對策をかねた臨時總會を開 高一日一圓五十錢最低一は十日午前九時から平舘に|會長は交渉の經過てん末を|石城郡內鄕村高坂居住草 ねてる石城鮮魚商共濟會で「眞百五十餘名へキ頭鈴木副 出獄したば かり 3

年を月謝並に小づかひ 四個づつ生む有樣で月 あててゐる樣だが佝幾 し月の前年は飼料代に は充分これを全部記 分 い副業であるから大いに 家庭のためにもこの上な 際驚くの外はない誠によ い經驗で子供のためにも たらずで色々差しひい **尚ほ利益のあるには實**

看護婦會

町南町

な | 松葉製ビノー吸煙用

最

奬勸する考へである

端をなすため近く相當大一で追跡格闘の上取押へ本署 長夫人は一家の經濟を全にろ平驛前を徘徊中の舉動 なる事を痛威した荒井梅 けなげな澄君の奮鬪に感 手傳ひをうけずに家計万 部一身に引きうけ夫君の れたと共に有利 たところ矢庭に逃走したの 署では去る九日 ~審の男があるので誰何し △舉動不審の男 午後六

規模の養鷄となす筈であ

刑務所を出獄したばかりのらないが何か犯行があるら 事實あるので平署員に捕は 義一(一三)は去る八日ころ れたが飼人は本年一月福島人は口をかんして何事も語 事實あるので平署員に捕は佐々木忠雄(一九)假名で同岡村宮に於て窃盗をなした。秋田縣仙北郡淀川村字千尺義一(一三)は去る八日ころに引致取調べたところ右は り目下準備中であると ---た。 実院計 電 の の 面 の 面 原籍地に紹介中である

小道河合で 漁船激浪にの 一名こも遂に溺死か 漁夫總出動で捜査中 まる

重大 ころ歸途につき同町字關田石見ら 字小宿沖合に出漁中同九時兩者 日午前五時ころ同郡祖田町 四)の兩名は傳馬船に乗り八 際押し寄せた激浪に呑まれ海岸の沖台にさしかかつた 邊勇三(四六)は同淺沼靜(三死したものと見られてゐる 石城郡勿來町字九面漁夫渡四時に至るも發見されず溺 が出動捜査中だが九日午前の講演があっ筈つたので同町の漁夫數十名氏の『水稻の栽培』に就て轉覆兩名とも行方不明となて開催されるが本橋正太郎 石城郡農事試験分場では三 農事傳習會を分場講堂に於月十四日午前九時より特別 特別農事傳習會 石城郡農試分場で

窃盗捕は

第二校に於て六名の學級であるとて従業員一同は承

割して豫算を縮少だくす模様で他營業者への

同じ数影響上多大の注意をひく

校長のやうな

ありて提案したか、第一でも馘首されるよりはまし

物は着發共前年に比し平 誠に氣のごくだが現在荷

とまると思ふ従業員には 一割位を威ずる見當でま

伏見町長が、

何んの顔せ

は相當不平の者もあるけれ 員に交渉中であるがこれに

あるであらう。

れ自体が大きい不謹慎で

約一

割を威ずべく目下従業

なるまいし、

提条發議を

來る四月一日から現在より

目下交渉中であるが大体

まだ决定したわけでなく

雲行き險悪な

石城鮮魚商組

策を講じつつあるので兩

狼狽し會員きり崩

の衝突は免かれまいと見

れてゐるが成行非常に重

なつた之がため市場側で

魚市場ご對立して

新たに組合を設立

あらう、それ程問題にも

るまいか。

無能を暴露したものであ それ自身提案者をしての

師の増俸に割りては町長

分に認識してゐる。その

平満宮運送店

從業員の日給減

大部分承諾する模様

他への影響注目さる

主は九日正午語る

それは町會議員諸君も充

他吉田商業校長、水道技

あらう、それ程問題にも は從業員二十三名の日給を論議の價値すらもないで 平町才趙小路清宮運送店で

茶だしんて威張るトラン

目下に苦慮のり注意すべ九紫人 住所に心配のり

回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込めれ

電話八四一番

四日分

試用欒を浸透療法の小冊子を郵送す

大阪市此花區吉野町一丁目

吉松醫院製劑部

進步

世

る此療法を一

度試で下さ

T

100

Ø.

M

9

この表面の大和魂がなかとる行ふ可し後幸ありてゐる俺の大和魂がなかとも行ふ可し後幸ありやうと思ふが全身に燃え▼七赤人旅行心に進まつ

も時代の推移とあきらめ 嘆いても仕方がない是れ

*六白人

特約店

になった

世間から疎んぜられる様 分を犯すので俺等は大分

W

身邊に苦慮あり注意すべ 五黄人 旅行外出等は吉

定價

|特大瓶醫家用···二圓七十錢 送料 | 內外四五錢 | 金四拾五錢、金九拾錢 | 送料 | 內地十二錢

奴が這人つて來て俺の領

だのカバンだのと云ふ

も俺等の誇りであるが然 類の為めに働いてゐるの そして大いに國の為め人

手を染むれば吉あり新事▼三碧人 過去の事に再び

肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療薬

よし 際を求める事旅行新事業

し近頃は西洋からトラン

· 四 緑 人

外用

ぎ事和なれば益を得中庸四線人 剛なれば損を招

を宇らば後幸事あり

醫學博士…内野先生實験 □

醫師…吉松先生發見

掼つてゐる

では全國に我輩の一族が

孫が次第に繁榮して現在

との學で非常に寵あいを

吉

湯

下腹や腰あれ子宮病根切跡

東京上野車坂四三東京上野車坂四三

良

かのえ申

けて封を賜ったその子

風

松

雄 (一

(入院隨

意)

阪臨の 孫のお腰を離れなかった んでも辨當持ちを常に皇 の國へ來たのだ其の時何 をうけてゐる先祖は天孫 ツ風は吹かれても驚かな 日本でしかも警域のから い純然たる大和魂の血統 ぶろしきでもない生 を包んで鼻が出る様な小 藤新华伯のやうな大ふろ 他人様である雰實フロ しきではないが天狗の面 キなんだ大隈重信伯や後 もない顔も見た事のない ふと夏目先生の門弟の樣 我輩は風呂敷であると云 時御伴をして日向 運····-明

たる度量を示した所なん 敵が現れ ものだ足が俺等の大國民 ころは少しもない可あい とになつた昔は仇でも强 對して共同戰線を張るこ し亦同化した上は憎むと 化してトランク野郎共に 今では袋嬢も俺等に同 ると共同もする 冬季はこされぬ 人

それずつと昔の事である **分俺等の勢力を侵害した** 郎が日本に來る前に支那 から袋孃がやつて來て大 不届きだ尤もトラソク野

平町六丁目(橋際)

番

電話三のカ

病 良 襲 劑

飲マ 現代醫藥界ノ驚異 ズニ治ルコリサ浸透療法

發賣元

町縣社下古鍛治町

花 U

ら正宗 一等賞受領福島縣淸酒 賔 同優等賞受領 品評

會

鹽屋最上 醬油釀造元

平町

師 專 裁縫專修科一學年 願書受附三月三十日限リ 年 三十名 十百名 五十名

好 **電話下谷五七一二番**

禺 芳 香 な, 3 洋 酒

芳 迅出 醇 速前 13 級食堂 É 5 慢 名 Ø 酒 四 洋 末 食

淋病 ح 渴 12

胃腸を害さずきゝめの良き 事すでに服藥者の言により め致します。上と云ふ最新樂の服用を御進

製藥發賣元 金壹圓 八川分 金壹圓八拾錢 <u>—</u> 町 Ħ

適す

雷話四四番

電話 Λ Ħ 四番

添出品 0 御 M

H 服

新學期も近づいて参り

ました。可愛いお子様方の通學服が、いろい ろ豊富に取揃ひました 黑 小 倉…1,80錢ョリ 紺 ヘ ル 4,00錢ョリ **紺サージ 4,60**鐘ョリ なかや洋服店

4二

電203

りな命生の図は捷敏實確 屋問物金 鐵銅洋和



しな略商る勝い賈廉品良